

学習の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

■大学院看護学研究科 博士後期課程

(成績評価基準)

- ・ 科目試験は、秀、優、良、可、不可とし、秀、優、良、可を合格とする。
- ・ 博士論文は、合格、不合格とする。
- ・ 最終試験は、合格、不合格とする。

(学位論文の審査基準) 本学学位規程により定める審査委員が学位論文・最終試験の審査基準により総合的に判定して合・否、あるいは、秀・優・良・可をつける。

① 課題研究

- ・ 問題意識が明確でテーマ設定が適切か
- ・ 課題に見合った方法論が選択されているか
- ・ 与えられた情報や仮定から、結論を導き出す過程に問題点は見られないか
- ・ 明解性・一貫性・論理性のある論旨が展開されているか
- ・ 文章力・読解力・自己表現力があるか
- ・ 看護学への貢献度があるか

② 博士論文

- ・ 問題意識が明確でテーマ設定は適切か
- ・ 課題に見合った方法論が選択されているか
- ・ 与えられた情報や仮定から、適切に結論が導かれているか
- ・ 明解性・一貫性・論理性・説明力のある論旨が展開されているか
- ・ 独創性・新規性があるか
- ・ 自律的・計画的・持続的に十分時間をかけて学位論文を作成したか
- ・ 自身の論文について、テーマ設定 データ収集推論 結論の導出、の過程を説明し、

弁明 できるか

- ・ 看護学関連の雑誌に掲載された業績（掲載予定を含む）はあるか
- ・ 国際的評価に値するか
- ・ 看護学への貢献度があるか

（最終試験の審査基準）

博士後期課程

- ・ 自律的・計画的・持続的に十分時間をかけて学位論文を作成したか
- ・ これまで、積極的にプレゼンテーション（研究発表・論文執筆）を行っており、今後も 継続してプレゼンテーションを行うことができるか
- ・ 今後の研究課題の展開、およびこれから自立して研究者としてやっていける見通しを持っているか
- ・ 看護研究者として必要とされる態度・資質（例えば、人間性・良識、共感性、協調性、社会性、謙虚さ、誠実さ、リーダーシップ、自分の弱点・強みが理解できるか、等）を有しているか。
- ・ 看護研究者としての幅広い知識・教養（例えば、社会問題、自然環境、人間心理、歴史 への関心）等を有しているか。

（博士後期課程修了の要件）

大学院に 5 年（修士の学位を有する者は、博士後期課程に 3 年以上在学を要する）以上在学し、博士後期課程授業科目について 23 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格するものとする。合格した者には、博士（看護学）の学位を授与する。

履修方法

I. 研究者コース

1. 必修科目

「看護学方法論」 3 単位

「理論看護学」 2 単位

「高等統計学」 2 単位

「専攻する分野の特論」 2 単位

「専攻する分野の演習」 2 単位

「特別演習」 4 単位

「特別研究」 6 単位

基盤分野より必修以外に 2 単位

合計 23 単位

2. 選択科目

希望により必修科目以外の授業科目を選択履修することができる

II. DNPコース

1. 1. 必修科目

「DNP 特論Ⅰ」 2 単位

「DNP 特論Ⅱ」 2 単位

「DNP 看護理論」 2 単位

「DNP 特論Ⅲ」 2 単位

「DNP 特論Ⅳ」 2 単位

「DNP 研究方法」 2 単位

「DNP 特論Ⅴ」 2 単位

「特別研究方法論Ⅰ」 2 単位

「特別研究方法論Ⅱ」 2 単位

「特別研究プロジェクト」 5 単位

合計 23 単位

「特別研究方法論Ⅱ」を研究者コース開講の「高等統計学」に代えることができる。」